

# 「健康と環境事業を通じて 社会貢献」をスローガンに

## 仙台の(株)健生 整骨院支援のビジネスモデルで

仙台ビジネス最前線



仙台市青葉区宮町の(株)健生本社ビル



機能訓練型デイサービスモデル



### ノウハウ生かし 支援コンテンツ開発

——1994年6月に創業して今年で20周年。整骨院の多店舗経営から、整骨院開業、経営を支援するビジネスモデルを開発、事業展開してきました。これまでの、事業の経緯などをお話下さい。

### 代表取締役社長兼CEO 中尾 充氏

1994年、仙台市青葉区宮町に整骨院を立ち上げてから今年で創業20年を迎えた(株)健生。整骨院事業から介護事業への参入を果たし、開業と運営支援を中心としたビジネスモデルを展開して、企業として第4フェーズへ突入した。健生グループを率いる中尾充社長兼CEOに、向こう10年間の事業展開などを聞いた。

中尾 企業発展の第1フェーズ(段階)として、2003年までに直営整骨院を27店舗まで拡大、同年には株式会社を改組しました。

第2フェーズは、これまでの多店舗展開からの業態転換です。一つは、03年4月に、学校法人東日本医療専門学校を仙台市太白区に設立しました。国家資格の鍼灸師と柔道整復師の輩出と育成。

もう一つが、これまで運営していた、直営整骨院をのれん分けや売却によりスリム化、整骨院の療養費請求代行業務や各種コンテンツを提供する、ジャパン柔道整復師会を立ち上げ、新しいビジネスモデルへ業態転換をはかりました。

### 全国に450の会員を持つ ジャパン柔道整復師会

——直営店を残している理由はなんでしょうか。

中尾 会員に提供するコンテンツを常に検証するためです。住宅地型、郊外型、ビジ

### 整骨院に介護事業を プラスして差別化

中尾 この介護事業参入が第3フェーズです。整骨院の院数が増加し、1件当たりの療養費取り扱いの額が減少、整骨院業界での競争が激化してきたため、会員数300件

ネス街型などの立地条件ごとに出店しています。ほとんどが仙台市内です。会員数は14年7月で450件、今期は500件、3年以内に1000件を目標にしています。  
当社と同様のコンテンツを提供している企業が全国にもありますが、ジャパン柔道整復師会では、整骨院開業と経営継続に本当に必要な様々なサービスコンテンツや商材を提供しています。また、療養費請求代行業務サービスも提供していますが、相当丁寧に対応しており好評です。会員数が伸びている背景には、業界ニーズにきちんと応えているからだと思っています。  
——その後、介護事業にも参入しましたね。

第3フェーズです。整骨院の院数が増加し、1件当たりの療養費取り扱いの額が減少、整骨院業界での競争が激化してきたため、会員数300件になってきた10年に、他の整骨院との差別化をはかり、保護をするために介護事業に参入しました。この年の11月に、直営店で機能訓練特化型デイサービス事業を開始、介護認定を受けている方の機能訓練を中心とした小規模短時間型デイサービスを始めました。  
翌11年3月から、デイサービスの会員制開業・運営支援

サービスの「Kensei介護net」を立ち上げました。こちらの会員数は40件ほどで、現在も多くの方からお問い合わせをいただいております。沖縄県糸満市でリハビリデイサービスの2号店も開業しました。さらには柔道・介護事業とシナジーを出しやす、パーソナルストレッチサロンやリラクゼーションサロンの開業支援も始めました。これらが第3フェーズまでの事業内容と経緯です。

全体で10億円です。  
——今後の事業展開をどのように考えていますか。  
中尾 当社は、高齢者が元気になるためのハツラツとして毎日を通じてもらいたいという理念で、日本の超高齢化に向け、既存事業の整骨院と介護事業のケアビジネスモデル

### 震災経験通し非常時ライフライン構築も

また、2011年の東日本大震災を経験し、震災によるライフラインの重要性を改めて認識しました。  
ライフラインが絶たれることによる健康被害を最初に受けやすいのが高齢者だといいうことを痛感しました。既存のケアビジネスモデルを

継続していく上で、非常時のライフラインの構築も当社の使命と思い、今後は家庭用電源の確保や省エネ対策、二酸化炭素削減に取り組み、環境事業にも参入していきます。創業30年、これから向こう10年間の当社のスローガンは「健康と環境を通じて社会貢献」です。

このため営業部門を強化していく、営業に特化したKenseiセールスパートナー(株)を9月に設立、代理店開拓にも力をいれていきます。



### ●プロフィール●

- 1967年6月29日、和歌山県有田市生まれ。47歳。箕島高校卒業後、大阪市の鍼灸専門学校に進学、同市の接骨院で勤務後、「鍼灸師資格だけでは食べていけない」と、91年から仙台の赤門鍼灸柔整専門学校で柔道整復師を取得。
- 94年6月、仙台市青葉区宮町に宮町鍼灸整骨院を開院。97年(有)健生として法人化、2003年株式会社に。同年には、学校法人健生学園東日本医療専門学校を設立、理事長に就任、国家資格の鍼灸師、柔道整復師の育成にも力を入れている。
- 箕島高校(機械工学科)時代は、水球の国体選手として活躍、「競泳でも全国20位。その速さを生かしてボールを取りに行く選手でした」。激しいスポーツのため腰痛に悩まされ、そのとき鍼灸に出会い、現在の事業につながる興味を持つきっかけとなる。
- 実家は重機金物商だったが、現在は母親が経営、弟も有田市で接骨院を経営する。奥様と長女の三人家族。趣味は海外旅行。

株式会社健生  
〒980-0004  
仙台市青葉区宮町3-5-20  
KENSEI-BLDG  
TEL 022-216-2301  
URL http://www.kensei-group.jp